

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 39	提案機関名 秦野市農業協同組合
要望問題名 食用桜の病虫害防除について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 秦野市は昔から食用桜の産地であるが、近年、桜の樹に「ウメノキゴケ」が大量に発生し、樹が枯れている場所が見られる。食用桜は野菜類の農薬以外散布できないため、現地では大変困っており、対策について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	☐ ①1年以内 ☐ ②2～3年以内 ☐ ③4～5年以内 ☐ ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	☐ ①農業技術センター ☐ ②畜産技術センター ☐ ③水産技術センター ☐ ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部、生産技術部
対応区分	☐ ①実施 ☐ ②実施中 ☐ ③継続検討 ☐ ④実施済 ☐ ⑤調査指導対応 ☒ ⑥現地対応 ☐ ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ウメノキゴケは樹勢が衰退している樹に多発します。ウメノキゴケが着生したため樹勢衰退が起こったのではなく、何らかの原因で樹勢衰退が起こり、後からウメノキゴケが着生します。そのため、樹勢回復をはかる必要があります。 樹勢回復については、ウメノキゴケが同様に多発するウメ樹において、古い枝の更新を定期的に図ることでその発生が軽減される事例が認められます。食用桜においても、年数の経過した枝の更新を図ることが重要であり、樹勢回復を促すことが可能になると考えられます。なお、枝のせん除時には、基部を残さずに切り取り、癒合剤を当日中に塗布して枯れ込みを防止してください。			
解決予定年限	☐ ①1年以内 ☐ ②2～3年以内 ☐ ③4～5年以内 ☐ ④5～10年以内		
備 考			